

令和5年2月28日

富良野市議会議長 黒 岩 岳 雄 様

富良野市議会議員 石 上 孝 雄  
外6名

## 議員の派遣に関する報告書

このたび議員派遣の承認を受け、その結果を下記のとおり報告します。

### 記

- 1 富良野沿線市町村議会議員研修会
  - (1) 目 的 議会活性化及び議員の資質向上に資するため
  - (2) 派遣場所 中富良野町
  - (3) 期 間 令和4年12月20日
  - (4) 派遣議員 富良野市議会議員14名
  - (5) 派遣内容 別紙のとおり

## 1. 派遣内容

富良野沿線市町村議会議員研修会

講演・演題 ゼロカーボン北海道について

・講師 北海道環境生活部次長

兼ゼロカーボン推進局地域脱炭素担当局長

甲 元 信 宏 氏

## 2. 所 感

2020年10月26日に菅義偉内閣総理大臣が第203回国会の所信表明演説において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、地方においても、2050年に温室効果ガス又はCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明する自治体が増えている。

北海道では令和3年3月に「北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)」、いわゆる「ゼロカーボン北海道」を策定し、2050年までに温室効果ガス排出量をゼロとすることを目指して、様々な取組を展開しており、講演では、今年7月に経済産業省から北海道庁に出向されている講師より、道内で取り組まれている海洋風力発電など再生可能エネルギー政策や、これらにより生産されたエネルギーを道外へ送る送電網の整備、さらには100%再生可能エネルギーで電源供給できるデータセンターの誘致などの事例が紹介された。とりわけ、道北地域においては、風力や太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの生産・供給は、気象条件や地理的条件に制約を受けることが推察される一方、エネルギーを消費・需要する立場から、観光分野における脱炭素のおもてなしや、住宅分野における断熱性の向上による省エネ化の可能性について理解や知識を深められ、大変参考になった。

富良野市においても令和3年4月に「ゼロカーボンシティ」を表明しており、市議会も同宣言の趣旨や重要性に鑑み、カーボンニュートラルの実現に向けて、しっかり政策形成に取り組んでいかなければならないことを認識する機会となった。